

# FINANCE 令和元年度決算

**令和元年度決算の概要**

令和元年度はアクションプラン 21 の第 3 期工事と新武蔵小杉病院の建設および千葉北総病院アメニティ棟、日本医科大学法医学研究棟の建設などのプロジェクトをこなしながら、前年度に引続き大幅な収入の増加と経費の節減による収支構造の改善を目指し、基本金組入前当年度収支差額 7.5 億円の黒字を計画してスタートしました。

結果、事業活動収入合計は 1,016 億円、事業活動支出合計は 997 億円で、基本金組入前当年度収支差額は 19.1 億円の収入超過（黒字）となり、予算を 11.6 億円上回りました。また、資金面では年度末借入金残高 498 億円と前年度より 30 億円の減少となりました。

**資金収支計算書** \*会計年度の現預金の動きとその内容を表している計算書

**1. 収入の部**

- ◆学生生徒等納付金収入  
日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の授業料、入学金、教育充実費等の金額で 64 億円となりました。
- ◆寄付金収入  
企業等、篤志家からの教育研究および施設設備にかかる寄付金で、合計 6.6 億円となりました。
- ◆補助金収入  
法人全体で 44.2 億円となりました。その内、経常費等補助金および地方公共団体等からの補助金では、前年度より 1 億円増加となりました。
- ◆付属事業収入  
日本獣医生命科学大学の動物医療センター、付属牧場とワクチン研究施設の収入で 7.4 億円となりました。
- ◆受託事業収入  
受託検査・受託指導・受託研究・治験・受託事業等の収入であり、19 億円で予算比 2 億円の増加となりました。
- ◆医療収入  
4 病院、クリニック、健診医療センターを合わせ 848.6 億円で、予算を 10 億円上回りました。また、全ての病院が前年度を上回り前年度比では 32 億円の増加となり、増加率は 3.9%となりました。
- ◆雑収入  
施設設備利用料収入、私学退職金財団交付金収入、過年度修正額を含んでおり、退職金財団交付金収入の増加により 21 億円となりました。

**2. 支出の部**

- ◆施設関係支出  
当年度の主な案件は、文京区千駄木 1 丁目の土地購入、日本医科大学法医学研究棟の新築工事、千葉北総病院アメニティ棟新築工事および AP21 付属病院建設工事、武蔵小杉病院新築工事にかかる建設仮勘定で、18 億円の計上となりました。
- ◆設備関係支出  
主に教育研究用機器備品（医療機器含む）の購入等で 35 億円となり、前年度比では 2 億円の増加となりました。

（自）平成 31 年 4 月 1 日 （至）令和 2 年 3 月 31 日  
（単位：百万円）

資金収支計算書			
収入の部			
科目	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金収入	6,419	6,432	△ 13
手数料収入	347	333	14
寄付金収入	802	656	146
補助金収入	4,380	4,420	△ 40
資産売却収入	—	28	△ 28
補助活動収入	62	59	3
付属事業収入	808	740	68
受託事業収入	1,735	1,934	△ 199
医療収入	83,817	84,865	△ 1,048
受取利息・配当金収入	3	3	0
雑収入	1,806	2,121	△ 315
借入金等収入	8,000	7,500	500
その他の収入	32,596	33,998	△ 1,402
資金収入調整勘定	△ 17,949	△ 16,970	△ 979
前年度繰越支払資金	8,836	8,836	—
収入の部合計	131,662	134,954	△ 3,292

支出の部			
科目	予算①	実績②	対予算①-②
人件費支出	42,468	42,751	△ 283
教育研究経費支出	14,050	13,139	912
医療経費支出	29,375	31,852	△ 2,478
管理経費支出	5,803	4,805	998
借入金等利息支出	582	555	27
借入金等返済支出	10,575	10,500	75
施設関係支出	3,260	1,849	1,410
設備関係支出	6,108	3,537	2,571
資産運用支出	—	—	—
〔予備費支出〕	110	—	110
その他の支出	23,913	31,530	△ 7,616
資金支出調整勘定	△ 11,758	△ 13,965	2,207
翌年度繰越支払資金	7,175	8,400	△ 1,225
支出の部合計	131,662	134,954	△ 3,292

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

**事業活動収支計算書** \*会計年度の実質的に損益となる収入・支出の内容を 3 区分して経営状況を表す計算書

**1. 教育活動収支**

(収入の部)

- ◆学生生徒等納付金、医療収入、受託事業収入などは資金収支科目とほぼ同じ意味になり、寄付金と補助金は、施設設備にかかるものを除きます。教育活動収入の合計は 1,014 億円で予算比 16 億円の増加となりました。

(支出の部)

- ◆人件費  
431.4 億円となり、その内、退職給与引当金繰入額は 20.2 億円となりました。前年度より 17 億円増加しましたが、予算の範囲内に留めました。
- ◆教育研究経費（医療経費を除く）  
189.9 億円となり、ほぼ前年度並みになりました。減価償却額は 58.7 億円となります。
- ◆医療経費  
医療収入の増加に伴うことと高額薬品の院内処方増加により 317.5 億円で予算を 24 億円上回り、医療経費率は 37.4%と前年度比 1.8%の増加となりました。
- ◆管理経費  
49.7 億円で修繕費と委託費の減少により、予算比 10 億円の節減になりました。減価償却額は 1.7 億円となります。
- ◆徴収不能引当金繰入額等を含めた教育活動支出の合計は 989.4 億円となります。

**2. 教育活動外収支**

- ◆収入は受取利息で支出は借入金等利息の 5.6 億円です。

**3. 特別収支**

(収入の部)

- ◆資産売却差額と施設設備にかかる寄付金および補助金と現物寄付を計上する区分で、過年度の修正と合わせて特別収入合計は 2.3 億円となりました。

(支出の部)

- ◆資産処分差額  
遺贈物件マンションの売却にかかる処分差額と AP21 付属病院建設工事にかかる既存建物の除却、図書の除却で 1.5 億円の計上となりました。過年度の修正額と合わせて特別支出合計は 2.3 億円となりました。

（自）平成 31 年 4 月 1 日 （至）令和 2 年 3 月 31 日  
（単位：百万円）

**事業活動収支計算書**

科目	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金	6,419	6,432	△ 13
手数料	347	333	14
寄付金	608	596	12
経常費等補助金	4,192	4,319	△ 127
補助活動収入	62	59	3
付属事業収入	808	740	68
受託事業収入	1,735	1,934	△ 199
医療収入	83,817	84,865	△ 1,048
雑収入	1,806	2,125	△ 319
教育活動収入計	99,793	101,402	△ 1,609
人件費	43,137	43,137	△ 0
教育研究経費	20,095	18,988	1,107
（減価償却額）	(6,045)	(5,873)	(172)
医療経費	29,375	31,755	△ 2,380
管理経費	5,993	4,974	1,019
（減価償却額）	(190)	(170)	(19)
徴収不能引当金繰入額等	15	86	△ 71
教育活動支出計	98,614	98,940	△ 326
教育活動収支差額	1,179	2,461	△ 1,283
【教育活動外支出】			
受取利息・配当金	3	3	0
教育活動外収入計	3	3	0
借入金等利息	582	555	27
教育活動外支出計	582	555	27
教育活動外支出差額	▲ 580	▲ 553	▲ 27
経常収支差額	599	1,909	▲ 1,310

科目	予算①	実績②	対予算①-②
資産売却差額	—	0	0
その他の特別収入	404	232	172
施設設備寄付金	195	60	134
施設設備補助金	188	102	87
現物寄付	21	59	△ 38
過年度修正額	—	11	△ 11
特別収入計	404	232	172
資産処分差額	143	150	△ 7
その他の特別支出	—	80	△ 80
過年度修正額	—	80	△ 80
開発に伴う土地寄贈	—	—	—
特別支出計	143	230	△ 87
特別支出差額	261	2	260
〔予備費〕	110	—	110
基本金組入前当年度収支差額	750	1,910	△ 1,160
基本金組入額合計	△ 9,329	△ 7,590	△ 1,739
当年度収支差額	△ 8,579	△ 5,680	△ 2,899
前年度繰越収支差額	△ 145,983	△ 145,983	0
基本金取崩額	0	3	△ 3
翌年度繰越収支差額	△ 154,562	△ 151,661	△ 2,901

(参考)

事業活動収入計	100,200	101,636	△ 1,436
事業活動支出計	99,450	99,726	△ 276

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

# FINANCE 令和元年度決算

## 貸借対照表 \*資産の部、負債の部、純資産の部に区分され会計年度末の財政状況を表す計算書

### 1. 資産の部

◆固定資産は土地の購入、教育用機器の購入で増加はあったものの、遺贈物件の売却とA P 21 付属病院建設工事関係の既存建物等の除却があり 8 億円の減少となりました。

◆流動資産の当年度末現金預金残高は 84 億円で前年度よりは 4 億円の減少となりましたが、借入金の残高を大きく減少させました。

### 2. 負債の部

◆当年度末借入金残高は 498 億円で前年度より 30 億円の減少となりました。

### 3. 純資産の部

◆第 4 号基本金は、学校法人の円滑な運営のために運転資金の額を常に確保することを目的に概念的に定められたものです。本法人の経常的な運転資金（1 か月分）の額が増額したことから、12.9 億円の組入れを行い年度末の第 4 号基本金の額は 72.7 億円となります。

## 貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在  
(単位：百万円)

資産の部			
科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②
固定資産	103,729	104,525	△ 796
有形固定資産	102,365	103,160	△ 796
土地	21,715	21,604	111
建物	62,319	63,746	△ 1,426
構築物	1,444	1,501	△ 57
教育研究用機器備品	12,045	11,746	299
管理用機器備品	168	181	△ 13
図書	2,844	2,855	△ 12
車両	21	26	△ 4
建設仮勘定	1,808	1,501	306
特定資産	58	58	0
第 3 号基本金引当特定資産	58	58	0
その他の固定資産	1,307	1,307	0
長期有価証券	316	316	0
その他	991	991	0
流動資産	25,481	25,154	327
現金預金	8,400	8,836	△ 436
その他	17,081	16,318	763
資産の部合計	129,210	129,678	△ 468

負債の部			
科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②
固定負債	55,609	62,042	△ 6,433
長期借入金	35,508	42,569	△ 7,061
その他	20,101	19,473	628
流動負債	32,003	27,949	4,054
短期借入金	14,336	10,275	4,061
短期未払金	13,491	13,930	△ 439
前受金	3,181	2,757	425
その他	995	987	8
負債の部合計	87,613	89,991	△ 2,379
純資産の部			
基本金	193,258	185,670	7,588
第 1 号基本金	185,924	179,634	6,291
第 2 号基本金	-	-	-
第 3 号基本金	58	58	0
第 4 号基本金	7,276	5,979	1,297
繰越収支差額	△ 151,661	△ 145,983	△ 5,677
翌年度繰越収支差額	△ 151,661	△ 145,983	△ 5,677
純資産の部合計	41,597	39,687	1,910
負債及び純資産の部合計	129,210	129,678	△ 468

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。